

# 年頭所感

## エネ政策再構築を

経済産業大臣 茂木 敏充



平成二十六年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。炉・汚染水対策も新たなフェーズを迎えています。国が前面に立ち、予防的・重層的な対策の実施や、国の司令塔機能の一本化、内外の専門人材を結集した新たな支援体制の構築など、多面的な対策を執行し、福島第一原子力発電所の事故収束を着実に進めていきます。また、早期帰還支援と新生活支援の両面から福島を支えるという方針の下、地元とも十分に協議し、福島再生の道筋を順次具体化していきます。合わせて、被災地における産業立地と雇用創出、事業再建を推進し、各エネルギー源の特徴を踏まえた、実現可能なエネルギーのつとれた計画とすることが重要であり、現実的かつ多層的な供給構造の実現に向け、オールジャパンで取り組みます。

また、早期帰還支援と新生活支援の両面から福島を支えるという方針の下、地元とも十分に協議し、福島再生の道筋を順次具体化していきます。合わせて、被災地における産業立地と雇用創出、事業再建を推進し、各エネルギー源の特徴を踏まえた、実現可能なエネルギーのつとれた計画とすることが重要であり、現実的かつ多層的な供給構造の実現に向け、オールジャパンで取り組みます。

また、早期帰還支援と新生活支援の両面から福島を支えるという方針の下、地元とも十分に協議し、福島再生の道筋を順次具体化していきます。合わせて、被災地における産業立地と雇用創出、事業再建を推進し、各エネルギー源の特徴を踏まえた、実現可能なエネルギーのつとれた計画とすることが重要であり、現実的かつ多層的な供給構造の実現に向け、オールジャパンで取り組みます。



明けましておめでとうございます。平成二十六年の年頭に当たり、謹んで御挨拶申し上げます。

現在、我が国が置かれていた状況は、東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故による影響がまだ残るとともに、グローバル化や超高齢化への対応など、国が総力を挙げて克服すべき課題が目の前に残されています。このような状況において、昨年九月七日、国際オリンピック委員会（IOC）総会において、東京都が二〇二〇年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市に決定されました。我が国の未来を切り開く明るいニュースであり、官民を挙げ、オールジャパン体制で行って来た招致活動が実を結んだものであると大変喜ばしく思っております。

あの震災からまもなく三年が経過しようとしています。しかし、震災の爪痕は、いまだに被災地に大きな影を落としています。私は、今後とも、被災者の心に寄り添い、被災地の復興に全力を尽くしてまいります。具体的には、学校の復旧をはじめとして、就学支援や心のケア、学習支援等に取り組みます。また、原発事故への対応として、除染や廃炉に関する研究開発等に着実に取り組みます。さらに、原子力損害賠償については、和解の仲介の体制強化に取り組むとともに、被災者の立場に立ち、迅速、公平かつ適正な賠償が行われるよう万全を期してまいります。

国家安全保障や基幹技術の強化を図るため、革新的技術開発を推進してまいります。人類のフロンティアである「宇宙」については、新型基幹ロケットの開発に着手するとともに、「はやぶさ2」の開発の推進や宇宙分野における安全保障・防災への貢献に取り組んでまいります。

「海洋」については、海洋資源調査研究を戦略的に推進してまいります。また、世界に先駆けた次世代インフラの整備に向けて、地震・防災分野の研究開発や構造材料の研究開発を進めます。さらに、人類共通の課題の解決に向けて、環境・エネルギー分野の研究開発やITER計画を着実に推進してまいります。加えて、「原子力」については、まず日本原子力研究開発機

## 革新的技術開発を推進

文部科学大臣 下村 博文

等に取り組みます。また、原発事故への対応として、除染や廃炉に関する研究開発等に着実に取り組みます。さらに、原子力損害賠償については、和解の仲介の体制強化に取り組むとともに、被災者の立場に立ち、迅速、公平かつ適正な賠償が行われるよう万全を期してまいります。

国家安全保障や基幹技術の強化を図るため、革新的技術開発を推進してまいります。人類のフロンティアである「宇宙」については、新型基幹ロケットの開発に着手するとともに、「はやぶさ2」の開発の推進や宇宙分野における安全保障・防災への貢献に取り組んでまいります。

「海洋」については、海洋資源調査研究を戦略的に推進してまいります。また、世界に先駆けた次世代インフラの整備に向けて、地震・防災分野の研究開発や構造材料の研究開発を進めます。さらに、人類共通の課題の解決に向けて、環境・エネルギー分野の研究開発やITER計画を着実に推進してまいります。加えて、「原子力」については、まず日本原子力研究開発機

お断り 編集上、一部割愛させていただきます。

人と社会と地球のために  
三菱マテリアルは、確かな素材と先進の技術で豊かな社会づくりと、循環型社会の実現を目指しています。

【事業情報】  
セメント・建材・鋼製鋼・鋼加工製品・超硬工具・機能部品・高性能材料  
機能材料・電子デバイス・多結晶シリコン・資源・エネルギー・環境リサイクル  
貴金属・アルミ缶・アルミ圧延品

MITSUBISHI 三菱マテリアル  
www.mmc.co.jp

Technetics GROUP  
EnPro Industries companies

高機能  
メタルシール  
を開発・供給

バルカー・ガーロック・ジャパン 株式会社  
Garlock Valqua Japan, Inc.

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門平タワー5F  
TEL (03)5510-2177 FAX (03)3591-5377  
http://www.garlock-valqua.co.jp

人・空気・未来

高砂熱学工業株式会社

取締役社長 大内 厚

〒101-8321  
東京都千代田区神田駿河台四一二一五  
トライエッジ御茶ノ水  
電話 (03) 3355-1813

木村化工機株式会社  
代表取締役社長

小林 康真